

# カートリッジの交換方法

【アンダーシンク型浄水器】

*π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM*





## (7) 水漏れの点検を行います

- ① 接続した部分を、タオル等できれいに拭いてください。
- ② 5分間の放水後、流し台水栓を閉めてシンク内湯側水栓を開けて、本体に圧力が加わった状態にしてから、ベンリ管エルボ・ベンリフレキ・本体の接続した各ネジ・ナット部分からの水漏れが無いことを確認してください。  
点検には、ティッシュペーパーを使用しますと、わずかな漏れもチェックできます。

### ◆水の検査 (残留塩素測定試薬 使用)

これは、本体が正しく取り付けられているかを確認する検査です。

混合水栓に取り付けられた場合、水側にして20秒程度放水してからコップに水をとってください。

\*温水が混ざると正しく検査できませんのでご注意ください。



残留塩素測定試薬

#### 確認方法

- ① コップに浄水後の水(薬50cc)を取ります。
- ② 付属部品の残留塩素測定試薬を1袋加えます。
- ③ かき混ぜて、無色透明で有ることを確認してください。

(判定は1分以内で行ってください。)

残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると水はピンクに変色します。

※但し、1分以上置くと塩素が無い状態でも変色します。ご注意下さい。



ご注意

- 使用後のコップ等は、よく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意してください。
- 手などに触れた場合、石けんでよく洗ってください。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- 幼児の手の届かない場所で保管してください。

## ご使用上の注意

- (1) 寒冷地の場合は、凍結の恐れのない室内に設置してください。
- (2) 水道圧0.5MPa以下でご使用ください。0.5MPaを越える場合、減圧弁を給水側に取り付けてください。
- (3) 本体は縦て設置してください。倒して使用されると原水が浄水されませんのでご注意ください。
- (4) ご使用は、水(飲料水適合)だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますので、ご注意願います。  
短時間の通水であれば、問題ありません。
- (5) 朝、最初に使う場合は、約1分間の捨て水をしてください。  
2~3日使用されなかった場合は、約2分間位の捨て水をしてください。
- (6) 井戸水、垢水等で適度に汚れた水道水、並びに全量方式(水道給水の全量を浄化する方式)ではカートリッジの浄化能力が極端に短くなります。
- (7) 受水槽・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このようなときは、水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。
- (8) 金魚や熱帯魚には使用しないでください。
  - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
  - ・カートリッジの寿命付近でカルキ(残留塩素)の除去が不十分な場合は、魚が死ぬ恐れがあるため。

■製造元 **株式会社 エイ・シー・エム**

〒130-0026 東京都墨田区両国4-8-10

TEL. 03-3634-7373 FAX. 03-3634-7384